

大都市の歓楽街に対する迅速な感染拡大防止と中長期的な感染防止を目的とした提言

令和2年8月24日（月）

新型コロナウイルス感染症対策分科会

・大都市の歓楽街（接待を伴う飲食店のある地域）での感染拡大が確認された際に、周辺地域または全国へ拡大をさせないための早期介入が重要であると考えられた。

・今後の対策強化に向け、現場で対応を行う保健所等を十分に支援するため、政府のリーダーシップのもと、タスクフォース的な組織を早急に設置し、自治体や関連業界と連携した対応が必要である。具体的には以下のような取り組みを検討していただきたい。

1. 関連する業界・地域の関係者（従業員、お客等）が検査を迅速に受けられる体制を構築する。また、検査後の調査・入院等の一連の業務、施設の確保、陽性者のフォローアップ等への支援も同時に必要である。その際、民間等の協力を得たり、手続きの簡素化を図るなど通常の制度の枠を超えた柔軟な体制を構築することもありえる。

2. 当該関連業界・地域の設置者や従業員等と感染状況の実態を把握できる信頼関係を最大限に構築・維持しつつ、実態に即した感染対策の支援をおこなう。

例：現場における感染対策のアドバイス、従業員の感染対策研修等の支援、接触確認アプリ等の活用、下水サーベイランスなど

3. このような機動的な支援枠組みは、効果があった場合には、歓楽街に限らず、大規模流行に発展しうる全国の同様のリスクのある環境や場面にも迅速な支援を行うことができる仕組みを検討すること。